

令和3年度奄美市一般会計補正予算(第3号)の概要

「奄美市新型コロナウイルス感染症緊急対策事業(第8弾)」

1. 予算の考え方

コロナ禍の収束が見通せない中、継続して感染防止対策や経済対策に取り組んでいくとともに、悲願の「奄美・沖縄世界自然遺産登録」の実現を契機に、これからも市民の皆様と一緒にコロナの困難に立ち向っていく「元気と希望」を発信する市独自の事業を実施する。

2. 補正予算額

今回の補正額 206,600千円 (歳出予算計上額)
249,600千円 (給食費減免分含む)

一般会計の計 32,394,733千円 (約324億円)

3. 事業規模

■全体事業費 325,600千円

(財源内訳)

R2繰越 76,000千円 (繰越費充当)

R3現年 249,600千円 (財政調整基金)

(単位:千円)

Table with 5 columns: 区分, R2繰越, R3予算, 今回補正, R3コロナ予算計. Rows include 事業費, 国・県補助金, コロナ交付金, 財政調整基金, 一般財源.

(R3予算計は今回の3号補正までの累計額)

■コロナ関連予算累計 6,914,539千円

4. 事業内容

感染防止対策（子供たちの支援） 7,000 千円

■学校トイレ洋式化改修事業 7,000 千円

洋式トイレが未設置や不足の小中学校に対し、新型コロナ感染防止対策としてトイレの洋式化を実施する。

- 対象 市内の小・中学校のうち洋式トイレのない又は不足する学校
(改修計画のある学校は除く)
- 内容 トイレの洋式化（和式から洋式へ）
学校の規模（児童数）に応じて整備
- 予算 7,000 千円（20 ヲ所想定）
- 実施時期 夏休み中に着手予定

経済対策（市民・事業者支援） 206,000 千円

■緊急経済対策「プレミアム商品券ほーらしゃ券」発行助成事業

172,000 千円

(R2 繰越 76,000 千円 + R3 96,000 千円)

例年小売店や飲食店等を対象に実施しているプレミアム商品券「ほーらしゃ券」について、コロナ禍の経済対策として更にプレミアム率を上げて発行する事業へ助成する。（市民生活と事業者の事業継続を支援）

- 対象 市内の小売店や飲食店等（参加登録制）
- 内容 プレミアム商品券発行（プレミアム率 37%）
発行額 550,000 千円（100,000 冊）
(4,000 円で 5,500 円分の商品券が買える)
- 予算 172,000 千円
プレミアム分 150,000 千円
事務経費等 22,000 千円
- 実施機関 実行委員会
- 実施時期 8 月 16 日受付開始（販売・利用は 10 月 1 日開始予定）

■緊急経済対策「飲食店応援プレミアム商品券」助成事業 34,000 千円

コロナ禍の経済対策として、飲食店等を対象に実施する「プレミアム商品券」事業へ助成する。(市民生活と事業者の事業継続を支援)

- 対象 市内の飲食店等 (参加登録制)
- 内容 プレミアム商品券発行 (プレミアム率 66%)
発行額 75,000 千円 (15,000 冊)
(3,000 円で 5,000 円分の商品券が買える)
- 予算 34,000 千円
プレミアム分 30,000 千円
事務経費等 4,000 千円
- 実施機関 奄美大島商工会議所
- 実施時期 8 月 16 日受付開始 (販売・利用は 10 月 1 日開始予定)

生活支援 (子育て世帯応援) 76,100 千円

■学校給食費支援事業 43,000 千円

コロナ禍が続く中、子育て世帯を応援するため、市内小・中学校の今年度 2 学期と 3 学期 (9 月から 3 月まで) の給食費を半額減免する。

- 対象 市内小・中学校の児童・生徒 3,650 人程度
- 内容 2 学期と 3 学期 (令和 3 年 9 月～令和 4 年 3 月) 給食費の半額減免
- 予算 43,000 千円 (歳入減)
- 実施時期 2 学期から (9 月以降)

■修学旅行・各種大会キャンセル等助成事業 3,000 千円

コロナの影響により発生した修学旅行・各種大会のキャンセル手数料等について助成する。(個団体主催大会は対象外)

- 対象 市内の小・中学校, 各スポーツ少年団
- 内容 修学旅行や各種大会の中止・延期の際に発生した費用への助成
令和 3 年 4 月 1 日以降を対象
- 予算 3,000 千円

■島外で頑張る学生応援事業 30,000 千円

コロナ禍が続く中、休校やアルバイト休職等により「学びの継続」が厳しい環境下の島外学生の生活を支援する。

○対象者 島外学校に通学する高校生・専門学校生・大学生・大学院生
950 人（想定）

（保護者が奄美市内の在住者に限る）

○内容 1 人あたり 3 万円を給付

○予算 30,000 千円

支援金 28,500 千円（950 人×3 万円）

事務経費等 1,500 千円

○予算 30,000 千円

○実施時期 8 月中広報～9 月中旬以降受付開始（予定）

■児童養護施設学生応援事業 100 千円

児童養護施設で生活する子供たちは、18 歳を迎えた高校卒業後には施設を退所し、支援世帯や法的支援もなく自立して生活しないといけない。

コロナ禍が続き、求職・進学も大変厳しい状況下にあっても、施設を出て、社会への第一歩を踏み出さなければならない。

その厳しい環境下にある子供たちに激励金を給付し、社会への第一歩を応援する。

○対象 児童養護施設で生活する高校卒業生 1 人（今年度）

○支援 1 人あたり 10 万円を給付

○予算 100 千円

○実施時期

事業実施は先に先方へ通知し、給付時期は卒業等の状況を踏まえ実行

■子供たちの元気活動応援事業 10,000 千円

コロナ禍で活動が制限される中、学校や地域の仲間との交流機会を促進し、元気な笑顔と思い出づくりの自主活動を応援する。

- 対象者 市内の小・中・高校生
(実施主体は子ども会、PTA、クラブ活動団体等)
- 内容 子供たちの交流活動への助成
- 予算 10,000 千円
助成金 9,000 千円 (10 万円×70 件程度想定)
事務経費等 1,000 千円
- 助成金 基本額 30,000 円
5 人以上の場合は 1 人増ごとに 2,500 円の加算 (上限 10 万円)
バス利用の場合は 30,000 円を加算
- 参考例 卒業記念イベント (スポーツ大会・文化祭等)
仲間との思い出づくりツアー (遠足、体験学習等)
記念品の自主製作
- 実施時期 8 月中広報～9 月以降募集開始 (予定)

■地域からの元気発信応援事業 23,000 千円

コロナ禍が続く中、「奄美・沖縄世界自然遺産決定」を契機に明るい未来に向けて、地域から「元気」「希望」を届ける各種団体等の自主的かつ地域社会への貢献性のある取組を応援し、コロナ禍を乗り越える市民の機運醸成を後押しする。

① 地域の「元気」「魅力」づくり応援事業 5,000 千円

- 対象者 集落・町内会・各種団体等
- 内容 地域・エリア単位での取組を基本に、地域活力の増進や地域資源を活用した取組への支援
 - ・地域イベントの実施に要する経費
 - ・地域資源の磨き上げに要する経費1 件あたり上限 30 万円 (補助率 8/10 以内)
- 予算 5,000 千円
- 実施時期 8 月中広報～9 月以降募集開始 (予定)

② 島の「元気」「慶び」「感謝」発信事業 18,000 千円

コロナ禍が続き、今年度も島内 5 市町村とともに夏祭りが中止になるなど、多くのイベントが実施できない状況が続いている。

一方で、世界自然遺産登録という吉報がもたらされ、ワクチン接種も進捗していることから、コロナの感染状況も踏まえつつ、地域活力の回復に向けた契機となる施策を計画。

○実施主体 奄美大島内 5 市町村連携による実施

○第一弾

登録の慶びの輪を住民に大きく広げるべく、市役所本庁舎前の紬スクリーンを活用し、世界に評価された奄美大島の大自然の魅力を最新技術で紹介する“登録祝賀イベント”を計画。

・予算 10,600 千円

・実施時期 登録記念式典（県主催）に合わせて実施予定

○第二弾

コロナ禍に苦慮する「島民への慰労」、悲願の「世界自然遺産登録への祝賀」、コロナ禍の最前線で尽力されている「医療従事者等への感謝」の意を込めて、“奄美大島 5 市町村連携花火”を計画。

・予算 7,400 千円

・実施時期 コロナの状況を踏まえ 5 市町村協議の上決定

事業者支援（故郷からの発信） 3,500 千円

■故郷をつなぐ特産品プレゼント事業 3,500 千円

コロナ禍が続き、都市部での催事や地元との交流も制限される中、先月「奄美・沖縄世界自然遺産登録」が実現。

このビックニュースを契機に、全国各地で日頃から奄美の PR 等に活動されている「奄美ふるさと 100 人応援団」に対し、世界自然遺産登録記念商品や島の薫る特産品（世界自然遺産登録記念商品等）を届け、故郷の更なる宣伝や絆を深めるとともに、事業者の販路拡大やふるさと納税の周知拡大を促進する。

○対象者 奄美ふるさと 100 人応援団 48 名

○内容 島の特産品（世界自然遺産登録記念商品等）を届ける
アンケートの実施（販路拡大、商品のブラッシュアップ、）
ふるさと納税の周知拡大

○予算 3,500 千円